

「IVR 会誌」 投稿論文チェックリスト

□に✓をつけて原稿と一緒に送ってください。

- ☐ 筆頭著者は IVR 学会会員（本会員・准会員）であり、学会費の未納がないことを確認した。
- ☐ 論文は、投稿者情報ページ、タイトルページ、英文抄録、本文、文献、図表（英文）、図説明文（英文）の順で構成した（メディカルスタッフコーナー論文は、英文抄録不要、図表・図説明文は和文）。
- ☐ 投稿者情報ページには、筆頭著者名、共著者名、所属（それぞれ和文・英文併記）、筆頭著者の連絡先（メールアドレス含む）を記載した。
- ☐ タイトルページには、論文タイトル（和文・英文併記）、投稿区分、key words（英文で、原著論文は 3～5 語、症例報告・テクニカルノートは 2～3 語）を記載した。
- ☐ A4 版、横書きで 12 ポイント、ダブルスペースで作成した。
- ☐ 原稿の長さは、英文抄録、本文、図表（1 点 400 字換算、組み写真でもそれぞれの写真は 1 点とする：例 4 枚組→1600 字）を含め以下のようにした。
原著論文：12000 字以内
症例報告：6000 字以内
テクニカルノート：6000 字以内
Letter to editor：800 字以内
メディカルスタッフコーナー：9000 字以内（英文抄録不要）
- ☐ 図の説明および表の内容は英文（半角）で別紙にまとめた（メディカルスタッフコーナー論文は和文）。
- ☐ 文献は規定の形式に沿って記載した。
- ☐ 本文・図中には、著者が特定される情報を入れなかった。
- ☐ 個人情報保護法に則り、患者が特定される記載はしなかった。
- ☐ 二重投稿に関する規定を読み、二重投稿にあたらないことを確認した。
- ☐ 動物実験では倫理問題に十分に配慮した。
- ☐ 患者を用いた研究には、インフォームドコンセントを得、（研究課題によっては）所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしはそれに準ずる機関の承認を得て論文中に明記した（または“投稿論文における研究が所属機関において承認が不要であること”を明記した）。
- ☐ 投稿規定「利益相反に関する事項の開示」に従い、利益相反の有無を論文末尾に明記した。
- ☐ 投稿規定「利益相反に関する事項の開示」および「日本 IVR 学会の臨床研究の利益相反に関する指針・細則」に基づき、共著者を含めた全著者分の申告書（様式 1）を作成した※

※原本を別途郵送すること（論文投稿をディスク媒体の郵送にて行う場合は同封しても良い）

総文字数（ 字）

氏名 _____